

# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

フジテック株式会社  
2016年11月25日(金)

1. 2017年3月期 第2四半期 決算報告
2. 2017年3月期 通期業績予想
3. 中期経営計画

# 1. 2017年3月期 第2四半期 決算報告

## 2011年度2Q以来の減収減益

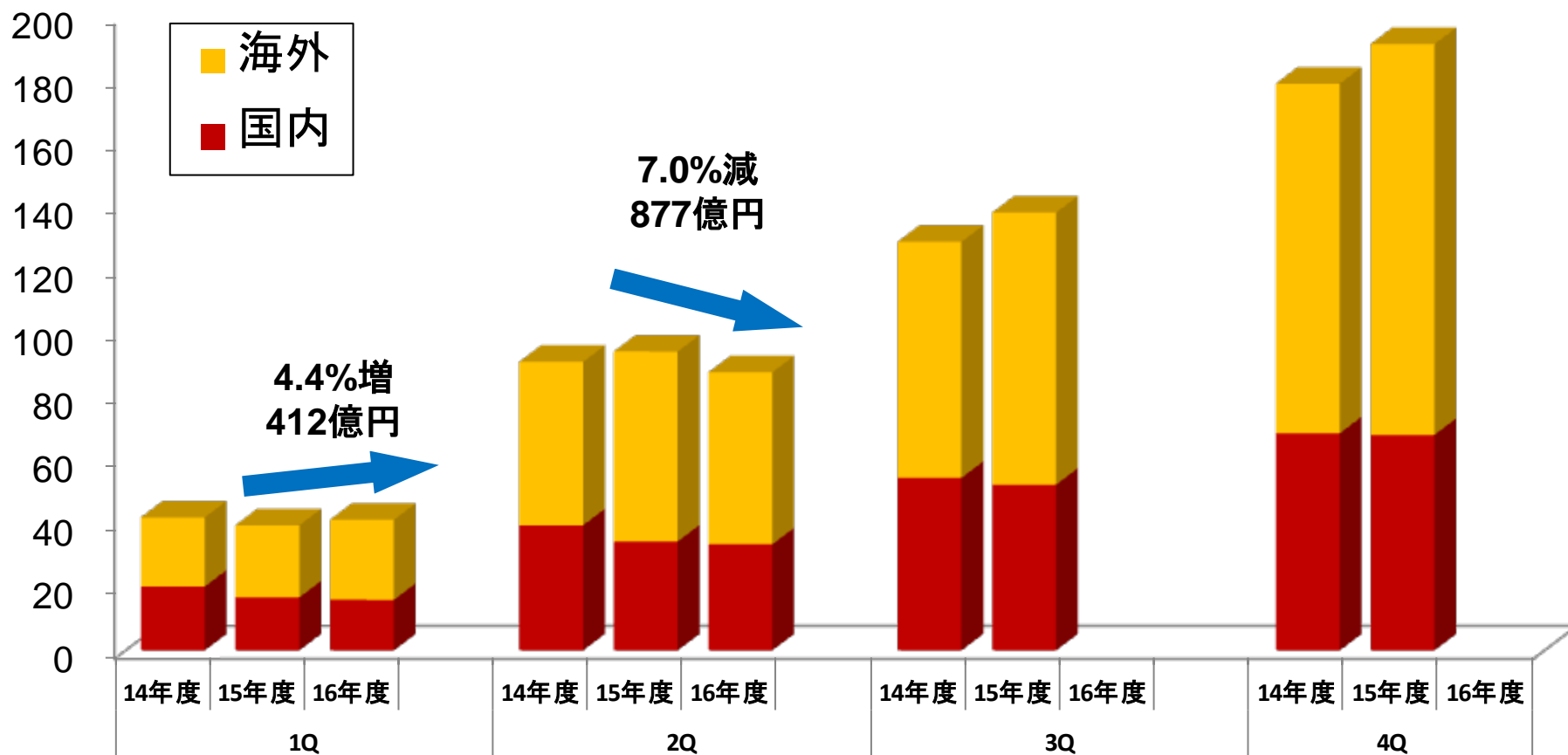
(単位:百万円)

	2017/3 (2Q)	構成比 (利益率)	期初計画	2016/3 (2Q)	構成比 (利益率)	増減% (同四半期比)
受注高	87,723	100.0%	—	94,310	100.0%	△7.0%
国内	33,484	38.2%	—	34,401	36.5%	△2.7%
海外	54,239	61.8%	—	59,908	63.5%	△9.5%
売上高	80,691	100.0%	80,000	83,728	100.0%	△3.6%
国内	28,221	35.0%	—	28,074	33.5%	+0.5%
海外	52,470	65.0%	—	55,653	66.5%	△5.7%
営業利益	6,666	8.3%	5,500	6,723	8.0%	△0.8%
経常利益	6,520	8.1%	6,000	7,359	8.8%	△11.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,389	5.4%	4,000	4,633	5.5%	△5.3%
EPS	54.52円	—	49.71円	57.45円	—	△2.93円

平均為替レート : 17/3期2Q 1米ドル114円、16/3期2Q 1米ドル120円

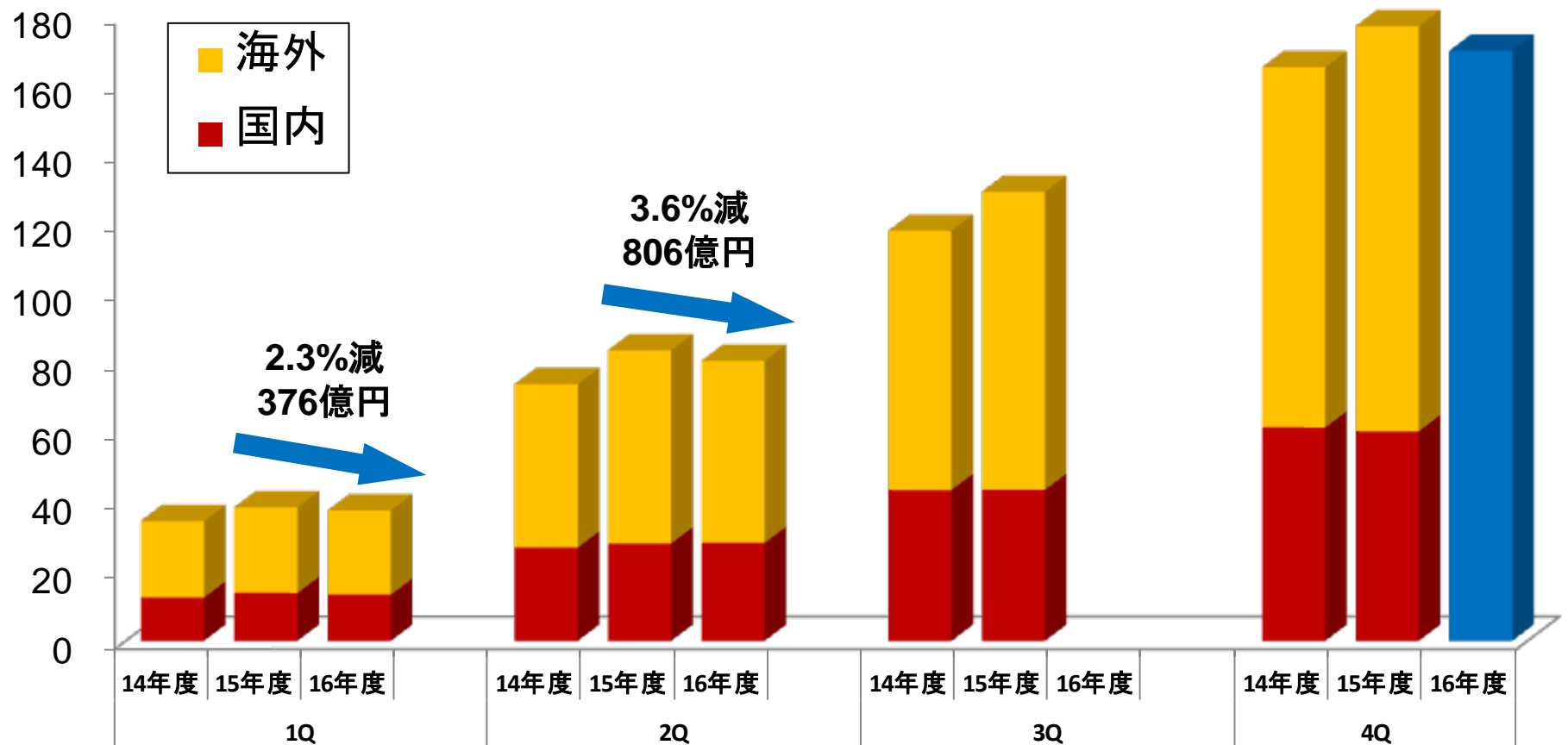
北米、南アジアが増加。日本、東アジアが減少

(単位:10億円)



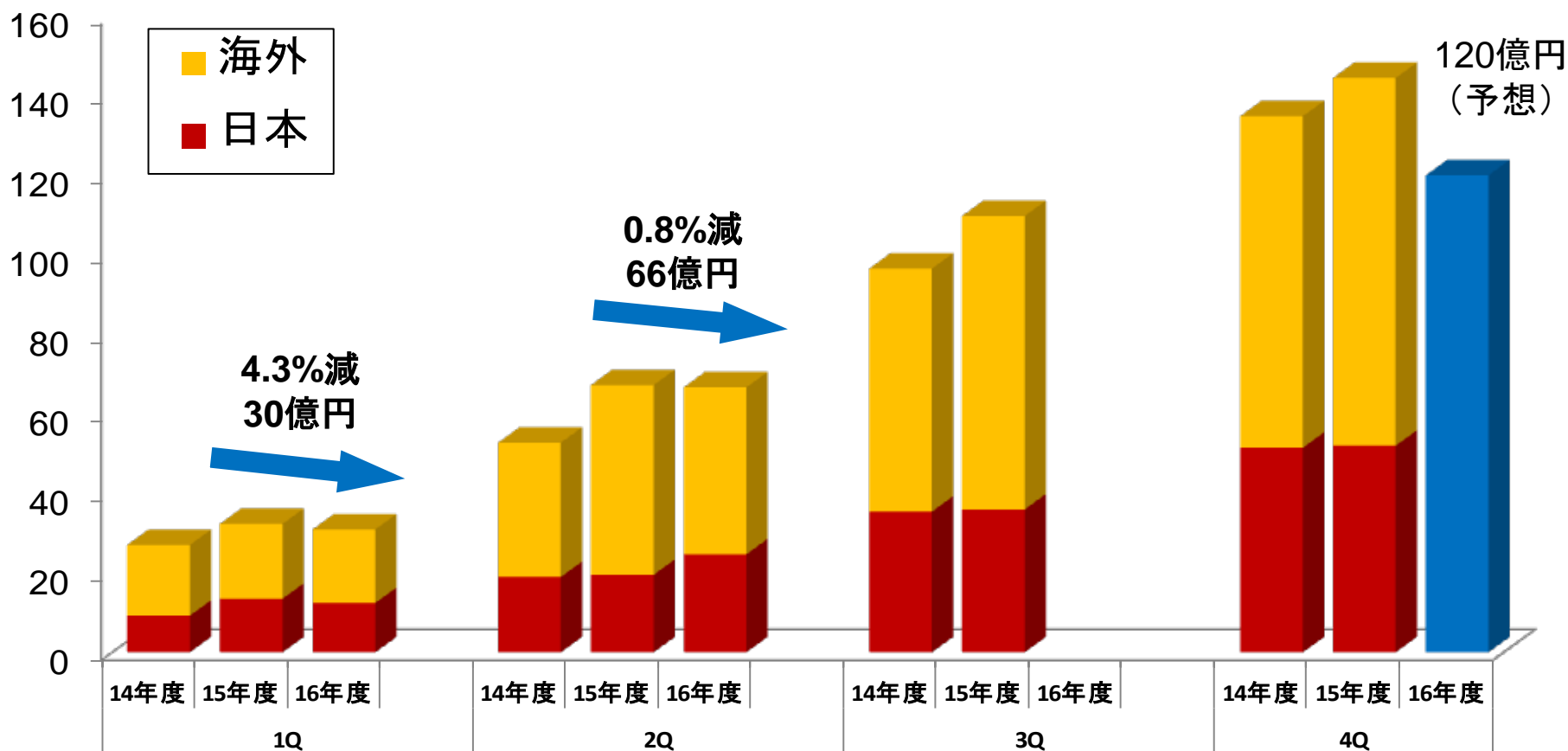
## 北米が好調。その他は減少

(単位:10億円)



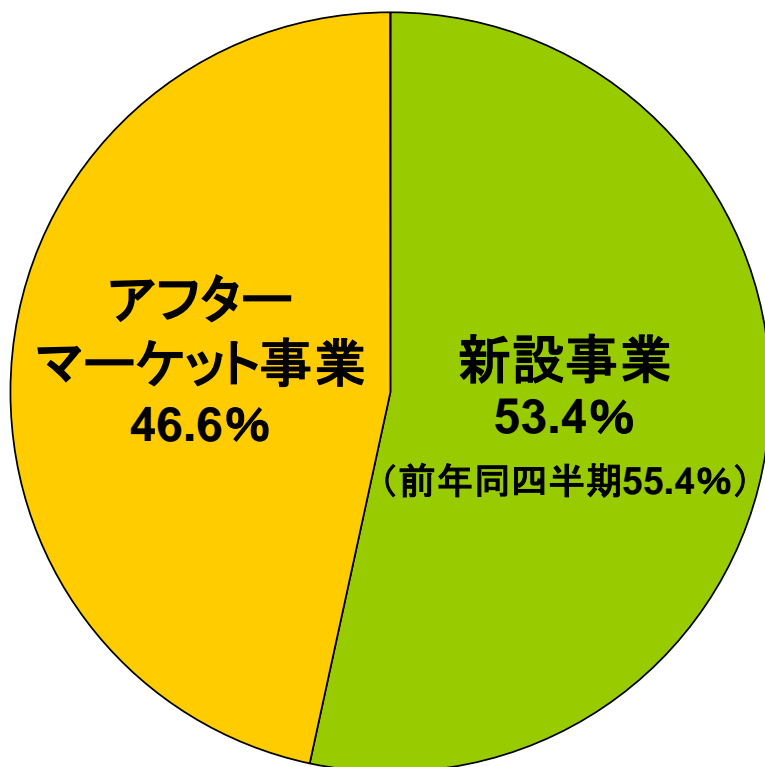
## 日本、北米が増益

(単位:億円)

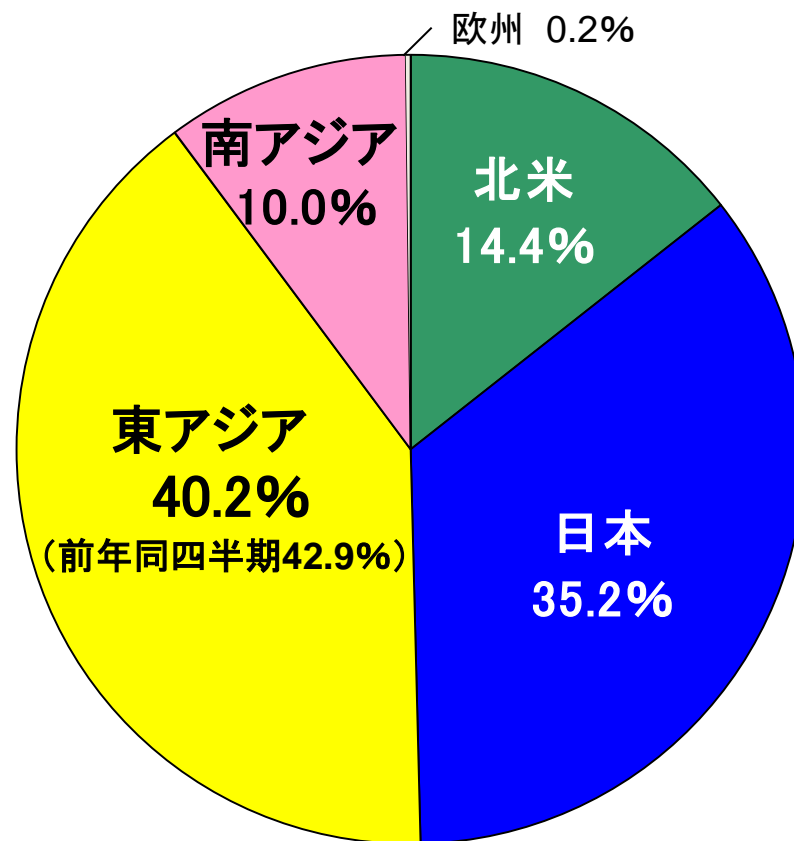


## 東アジアが減少

### 事業別売上高



### セグメント別売上高





# 1-6. セグメント別売上高・営業利益

## 北米が増収増益。日本も増益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2017/3 (2Q)	2016/3 (2Q)	増減%	2017/3 (2Q)	2016/3 (2Q)	増減額
日 本	29,714	30,438	△2.4%	2,467	1,951	+515
東アジア	35,460	39,909	△11.1%	2,724	3,822	△1,098
北 米	11,674	10,718	+8.9%	363	△141	+505
南アジア	8,086	8,757	△7.7%	1,075	1,125	△50
欧 州	190	230	△17.4%	△38	△35	△3
小 計	85,126	90,054	△5.5%	6,591	6,723	△131
調 整 額	△4,435	△6,326	—	74	△0	+74
合 計	80,691	83,728	△3.6%	6,666	6,723	△57

平均為替レート：17/3期2Q 1米ドル114円、16/3期2Q 1米ドル120円

## 減収・増益。アフターマーケット事業が堅調

### 新設事業

- ・建築コストの高騰で需要減少
- ・売上は工期の延伸で減少
- ・円高による材料費低減で増益

### アフターマーケット事業

- ・モダニゼーション事業が減収
- ・売上は保守が牽引し増収
- ・固定費上昇を吸収し増益



GINZA PLACE (東京)



フォーシーズンズホテル京都 (京都)

## 減収減益。中国が影響

中国

- ・競争激化で受注価格は下落傾向
- ・新機種投入も受注は減少
- ・経費の増加で減益

香港  
台湾  
韓国

- ・香港、韓国で増収



済南名悦山庄別墅(中国)



亜州大学附属病院(台湾)

## 減収ながら、利益率は改善

### シンガ ポール

- ・新設、アフターマーケット事業が堅調
- ・増収増益

### アセアン 地域 インド

- ・マレーシア、インドネシアは受注が好調
- ・インドはプロジェクト延伸で前年並みの受注



ロータス・タワー  
(スリランカ)

北米は新設事業、アフターマーケット事業ともに好調

北米

- ・新設事業、アフターマーケット事業が伸長
- ・新設事業は損益改善
- ・保守事業の採算性が向上

欧州

- ・低調に推移



トランプ・インターナショナル・  
ホテル&タワー® バンクーバー  
(カナダ)

# 1-11. 連結決算 B/S

(単位：百万円)

	2016/9末	2016/3末	増減額	備考
流動資産	112,286	123,304	△11,018	
現金及び預金	42,282	43,698	△1,416	東アジアの減少
受取手形及び売掛金	44,857	52,502	△7,644	日本・東アジアの減少
棚卸資産	19,322	21,075	△1,753	東アジアの減少
その他	5,823	6,028	△204	
固定資産	45,943	48,567	△2,623	
有形固定資産	32,093	33,828	△1,735	設備投資 +1,335 減価償却 △1,252 為替ほか △1,818
無形固定資産	3,526	4,063	△537	
投資その他の資産	10,323	10,674	△351	
総資産	158,229	171,872	△13,642	
流動負債	60,919	66,981	△6,062	短期借入金 △3,251 賞与引当金 △938 前受金 △1,040
固定負債	4,098	4,484	△385	
純資産	93,211	100,406	△7,194	利益剰余金 +3,173 為替換算調整勘定 △8,499 非支配株主持分 △1,840
自己資本比率	52.7%	51.6%	—	
B P S	1,035.02円	1,102.66円	△67.64円	

## フリーキャッシュ・フローが増加

(単位：百万円)

	2017/3 2Q	2016/3 2Q	増減額
現金及び現金同等物期首残高	21,833	30,602	△8,768
営業活動キャッシュ・フロー	10,773	1,890	+8,882
投資活動キャッシュ・フロー	△2,092	△3,100	+1,008
フリーキャッシュ・フロー	8,680	△1,210	+9,891
財務活動キャッシュ・フロー	△4,549	△7,608	+3,059
現金及び現金同等物の 四半期末残高	22,449	22,244	+204

## 2. 2017年3月期 通期業績予想



## 期初計画を据え置き

2017年3月期（期初計画）

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	660	52	7.9%
東アジア	800	52	6.5%
北 米	210	3	1.4%
南アジア	150	14	9.3%
欧 州	5	0	-
小 計	1,825	121	6.6%
調 整 額	△125	△1	-
合 計	1,700	120	7.1%

平均為替レート：1米ドル110円

2017年3月期（見直し）

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	660	52	7.9%
東アジア	770	50	6.5%
北 米	220	5	2.3%
南アジア	150	15	10.0%
欧 州	5	△1	△20.0%
小 計	1,805	121	6.7%
調 整 額	△105	△1	-
合 計	1,700	120	7.1%

平均為替レート：1米ドル108円

### 日本：期初計画通り

(単位：百万円)

	2017/3	2016/3	増減%
売上高	66,000	65,001	+1.5%
営業利益	5,200	5,199	+0.0%
営業利益率	7.9%	8.0%	△0.1P

- ・アフターマーケット事業は順調に推移
- ・モダニゼーション事業は増収の見通し
- ・営業利益は前期並み

### 東アジア：期初計画を見直し

(単位：百万円)

	2017/3	2016/3	増減%
売上高	77,000	84,606	△9.0%
営業利益	5,000	7,500	△33.3%
営業利益率	6.5%	8.9%	△2.4P

平均為替レート：1人民元17円

- ・中国で価格競争が一段と激化
- ・新設事業の採算低下により減益の見通し

### 南アジア：シンガポール、アセアン地域で増益

(単位：百万円)

	2017/3	2016/3	増減%
売上高	15,000	17,075	△12.2%
営業利益	1,500	1,626	△7.8%
営業利益率	10.0%	9.5%	+0.5P

平均為替レート：1シンガポールドル79円

- ・シンガポールは新設、アフターマーケット事業が堅調
- ・マレーシア、インドネシアは通期で増益
- ・インドは増収の見通し

## 北米・欧州：北米の営業利益率が改善

(単位：百万円)

北 米	2017/3	2016/3	増減%
売 上 高	22,000	22,360	△1.6%
営 業 利 益	500	137	+263.8%
営 業 利 益 率	2.3%	0.6%	+1.7P
欧 州	2017/3	2016/3	増減%
売 上 高	500	508	△1.6%
営 業 利 益	△100	△43	—
営 業 利 益 率	△20.0%	△8.5%	—

平均為替レート：1米ドル110円、1ユーロ121円

- ・北米は新設事業、モダニゼーション事業が好調
- ・欧州低調で営業損失を見込む

## 設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2017/3	2016/3	増減額
設備投資額	5,300	4,316	+984
国内	3,700	1,499	+2,201
海外	1,600	2,816	△1,216
減価償却費	2,900	2,748	+152
研究開発費	3,000	2,179	+821

(単位：円)

	2017/3	2016/3	増減額
配当金	30	30	—
中間	15	15	—
期末	15	15	—

# 3. 中期経営計画



# No Limits!

Push Forward Together!



## 中期経営計画 2016～2018年度 行動ビジョン

1. 市場ニーズを捉えたシェアアップ
2. 商品統一による市場競争力の強化
3. 全社調達革新とグローバル設計ネットワークの構築
4. 経営品質の向上



## 3-2. 中期経営計画のターゲット

**2019年3月期**

**売上高：2,000億円**

**営業利益：160億円**

**営業利益率：8.0%**

**2017年3月期**

**売上高：1,700億円**

**営業利益：120億円**

**営業利益率：7.1%**

## 參考資料

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数93,767,317株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：7名（うち社外3名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 9,555名（個別 2,905名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2016年11月25日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2016年11月25日

**フジテック株式会社**

2017年3月期第2四半期 決算説明会資料

